

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)1BAN 高槻市新築工事	階数	地上 5F
建設地	大阪府高槻市緑町	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	464 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,110 時間/年(想定値)
建物用途	集会所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2020年10月13日
敷地面積	2,597 m <sup>2</sup>	作成者	村岡 直美
建築面積	1,810 m <sup>2</sup>	確認日	2020年10月14日
延床面積	6,521 m <sup>2</sup>	確認者	村岡 直美



シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.6

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境	3.8
温熱環境	2.5
光・視環境	N.A.
空気質環境	3.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性	2.4
耐用性	2.9
対応性	3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・地域環境	2.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.0

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.0
地域環境	3.0
周辺環境	2.7

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>建物の断熱材等、外皮性能向上に努めることで外皮熱負荷低減を図った。</li> <li>周辺の景観に配慮した植栽計画を行った。</li> </ul>	
<b>Q1 室内環境</b> ・複層ガラスを採用し、開口部遮音性能を向上させた。	<b>Q2 サービス性能</b> ・将来の用途変更の可能なゆとりを確保した。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・敷地内の緑化及び外壁面に壁面緑化等の計画を行った。	
<b>LR1 エネルギー</b> ・LED照明を採用するなど設備システムの高効率化を図った。 ・屋根や外壁の断熱性能を向上し、建物の外皮熱負荷を抑制した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水型の器具を採用した。 ・部材の再利用の可能性を向上するため、躯体と仕上げ材が容易に分別可能となる計画とした。
	<b>LR3 敷地外環境</b> ・道路に面する南側に植栽を計画することで、周辺環境への配慮を行った。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0090

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)1BAN 高槻店新築工事						
	建設地	大阪府高槻市緑町						
	用途/区分	集会所 工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						2	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.0	2	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
	先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
	特に配慮した事項	○建物の断熱材等、外皮性能向上に努めることで熱負荷低減を図った。 ○周辺の景観に配慮した植栽計画を行った。						